

平成 29 年 3 月 10 日  
 四 国 電 力 株 式 会 社

## 伊方発電所における通報連絡事象（平成 29 年 2 月分）について

平成 29 年 2 月に、当社から愛媛県ほか関係自治体に通報連絡した事象は以下の 3 件です。これらの事象は、法律に基づく報告事象に該当するものではなく、また、環境への放射能の影響もありませんでした。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所 1 号機 廃液蒸発装置での水漏れについて	2 月 10 日	2 月 10 日	B
2. 伊方発電所 3 号機 発電機出力の変動について	2 月 21 日	-	C
3. 伊方発電所 1、2 号機 放水口水モニタの指示上昇について	2 月 23 日	-	C

県の公表区分    A：即公表  
                           B：48 時間以内に公表  
                           C：翌月 10 日に公表

なお、今月は過去に発生した通報連絡事象についての原因と対策をまとめた報告書の提出はありませんでした。

（別紙）伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成 29 年 2 月分）

以 上

## 伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成29年2月分）

## 1. 伊方発電所1号機 廃液蒸発装置での水漏れについて

伊方発電所1号機の原子炉補助建家（管理区域内）において、点検中の廃液蒸発装置の配管保温下部床面に水漏れ跡が見られたことから、配管の保温材を取り外して確認した結果、2月10日11時30分頃、廃液蒸発装置内部の弁から10秒に1滴程度の水漏れを係員が確認しました。

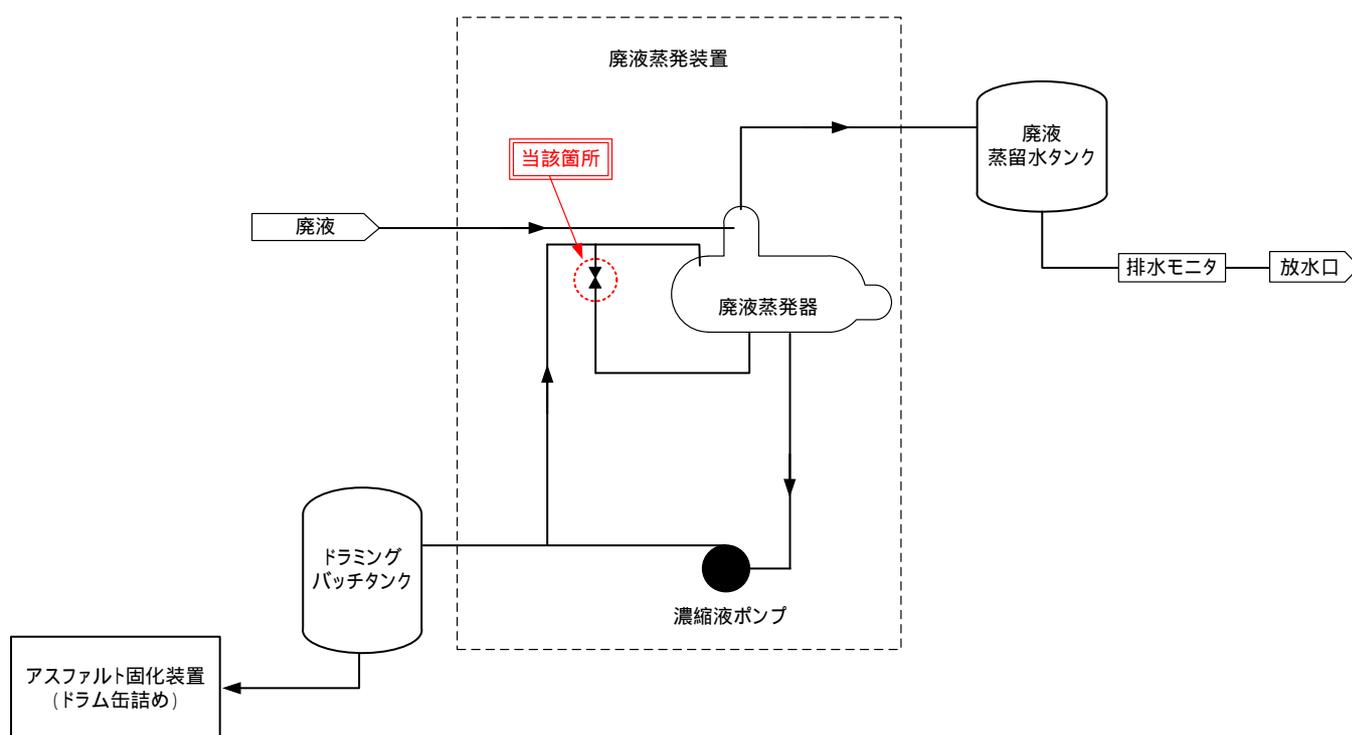
その後、弁からの水漏れは停止しております。

漏えいした水は約300ccで、含まれる放射エネルギーは約8400ベクレルであり全量拭き取りを実施しました。

今後、漏えいした原因について詳細調査を実施します。

本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。

伊方発電所1号機 廃液処理系統概略図



## 2. 伊方発電所3号機 発電機出力の変動について

2月21日14時49分頃、他事業者の発電所の計画外停止による影響と思われる系統ショックにより、伊方発電所3号機の発電機出力に有意な変動が発生しました。発電機出力の変動は瞬時に収束し、プラントの運転に影響はありませんでした。

参考：発電機出力の変動幅

発電機出力の変動幅		
889 MW ( - 3 . 4 % )	~ 919 MW ( 変動前後 )	~ 964 MW ( + 5 . 1 % )

## 3. 伊方発電所1、2号機 放水口水モニタの指示上昇について

2月23日0時30分に、伊方発電所1、2号機放水口水モニタの有意な指示上昇を示す「10分平均注意」の信号が発信しました。

当時、発電所周辺は雨が降っていたこと、放水口内の海水を採取して分析した結果、人工核種は検出されなかったことから、降雨による自然変動と判断しました。

(参考) 伊方発電所1、2号機放水口水モニタ

伊方発電所1、2号機放水口内の海水の放射線量を測定しているモニタ。3号機にも同様の放水ピット水モニタがある。

以 上